

報道関係者各位

IMS ジャパン トップライン市場データ
2016年第3四半期（2016年7月－9月）日本医療用医薬品市場、
前年比 2.4%減となる 2兆 5,167 億 89 百万円。

- 上位 10 薬効では、L01 抗腫瘍剤が前年比 15.9%増と唯一の二桁成長。
- 上位 10 製品では、2015 年発売の C 型肝炎治療薬「ハーボニーハイゴウ」が 494.7%増で売上首位、一方前年トップの「ソバルディ」は 55.8%減で 8 位へ。
- がん免疫療法剤「オプジーボ」が前年比 1898.7%増で、上位 10 製品・L01 抗腫瘍剤薬効内共に分子標的治療薬「アバスチン」と順位を入替え。L01 薬効内ではトップへ。

2016 年 11 月 1 日、アイ・エム・エス・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：宇賀神史彦）は、2016 年第 3 四半期（7 月－9 月）の日本医療用医薬品市場（薬価ベース）を、「IMS ジャパン トップライン市場データ」として発表しました。

IMS ジャパンは、日本のヘルスケア産業の発展と透明性の創造、および社会の皆様による日本のヘルスケア市場についての理解を深めていただくため、市場規模や薬効、製薬企業および医薬品の売上、処方、疾病に関するトップラインデータをメディアや医療・医学の研究に携わっている学術研究機関に提供しています。トップラインデータを開示することで、弊社は皆様と情報の共有化を図り、日本のヘルスケアの発展に貢献したいと考えています。

【2016 年第 3 四半期（7 月－9 月）】日本医療用医薬品市場トピックは以下の通りです。

- 当該期間の日本医療用医薬品市場は、2 兆 5,167 億 89 百万円、成長率は前年比 2.4%。
- 上位 10 薬効では L01 抗腫瘍剤 2,411 億 39 百万円（15.9%増）がトップで。同薬効内ランキングは「オプジーボ」311 億 60 百万円（1,898.7%増）がトップ、前年首位の「アバスチン」（6.7%減）は 2 位へ。
- 上位 10 製品では、C 型肝炎治療薬「ハーボニーハイゴウ」が 448 億 40 百万円（494.7%増）でトップ、前年首位の「ソバルディ」191 億 40 百万円（55.8%減）は 8 位へ。上位 10 製品でも「オプジーボ」が 2 位となり、前年 2 位の「アバスチン」は 3 位へ。

* IMS ジャパン「日本医薬品市場統計」における「薬効」は ATC 分類に準拠しています。

「ATC 分類 (Anatomical Therapeutic Chemical Classification) は、薬の消費量に関する国際的な統計を取るために考案された医薬品の分類法。WHO の医薬品統計法共同研究センター (Collaborating Centre for Drug Statistics Methodology) で統括管理されている。薬効、作用部位・器官および化学的特徴によって 5 段階レベルで分類され、原則的に一成分の主薬効に対して 1 つのコードが付与される。」

(公益社団法人 日本薬学会 「薬学用語解説」より抜粋)

QuintilesIMS について

QuintilesIMS (NYSE : Q) は、情報・テクノロジーにより強化された統合ヘルスケアサービスを世界各地で提供するリーディング企業として、お客様の臨床・サイエンス・営業・マーケティングの各領域のパフォーマンス向上の貢献に邁進しています。Quintiles と IMS Health の合併により誕生した QuintilesIMS では、およそ 50,000 人の社員が 100 カ国以上で活動しています。治療のイノベーションによる実臨床 (リアルワールド) におけるアウトカムの向上や高度な臨床開発のアウトソーシングを探し求めるお客様にとって、QuintilesIMS の保有する多様なヘルスケア情報、テクノロジーおよびサービスソリューションを活用頂くことにより、新たなインサイトや課題解決策を導き出すことができるようになります。QuintilesIMS は、臨床開発から営業・マーケティング活動までの一貫したソリューションをご提供することで、お客様のイノベーションの成果を最大化し、治療のアウトカムの更なる向上に貢献していきます。

また、ヘルスケア情報を利活用し、実診療 (リアルワールド) における疾患および治療に関するインサイトを提供するにあたり、膨大なヘルスケア情報を取り扱う上でのお客様の個人情報保護の分野における世界的なリーダーとして、多様な匿名加工・暗号化等の先端技術によって、ヘルスケア情報を厳格に保護・管理しています。QuintilesIMS のヘルスケア情報から導き出されるインサイトやサービスは、バイオテクノロジー企業、医療機器企業、製薬企業、医療研究機関、政府機関、保険者およびその他ヘルスケア関連企業における、新たな治療方法の開発・承認、アンメットニーズの特定、医薬品の有効性、安全性およびその価値の理解・周知に役立っています。

※2016 年 10 月 3 日 (米国東部標準時)、Quintiles Transnational Holdings Inc. (米国クインタイルズ社) と IMS Health Holdings, Inc. (米国 IMS Health 社) は合併して QuintilesIMS となりました。

日本での事業につきましては、現時点では IMSJapan と Quintiles Transnational Japan の両社が継続して行います。